

刊夕 日六廿月四



定額 一冊五錢 一月五拾五錢 半年二圓二拾五錢 一年四圓
 廣告料 五號十二字 第一行 五拾錢
 日曜 祭日の翌日 休刊
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

高月句會集

芹の讀後感

巖男

中 芹つむや朝餉の煙る船の

春の植物として最も吾等に

親しい芹今少し忠實に作句

してもらえ度芹つみ其れは

朝早く摘み出ないことも

無からうが、大概午後の柔

い日射しを好んで摘む様に

見受けられる。而も此の句

朝餉の煙る舟の中とは一寸

うなづき兼ねる、芹其れは

大体小川のほとり等に見ら

れて舟等の通ふ様な大きな

川にほとんど見受けられぬ

俳句は玩具ではない、今一

歩進んで深く自然を見てい

もこんなにも廻りくどい景色
 を用ゆる要を見とめぬ僅か
 十七文の短文詩であるいさ
 しかたりとも不用の語を用
 ゆる可からず見たまゝ感じ
 たまゝを素直に十七字にま
 とむ可きである。川柳かと
 思はる可し

せり洗ふ小川の水はゆるめたり
 洗ふ場面より却つて摘む
 場面を表した方が良い様に
 思はれます。春ようやく深
 くならんとして裏の用水堀
 にもチヨロ／＼と水が流れ
 初めた。郊外の戀しい頃だ
 小川の水にや／＼のびた芹摘
 んで居る作者の感じが曲り
 なりにも感じられる此の集
 の中ではや／＼良い句である
 せり摘むや水沁みわたる

此の集で唯一の佳句である
 雨上りの午後を子供と連れ
 立つてせりを摘む春の和や
 かな陽光が野一杯に照つて
 遠く野の果には陽光が燃え
 て居るだらう。藁草履を通
 す水の感じにも春の氣配が
 濃い此の句を見て居ると自
 分も何んだか春の野に出て
 心ゆくまで自然を觀賞して
 見たくなつて来る。

門外漢の自分が只感じた
 まゝをまとめたものです。
 作者に對する無禮を御詫致
 します。忘評多謝

裏街

文郎 作

銭湯屋のエンツツに

ひつかつた月が

類廢な人間の垢で

黒ずんだ水面にうつてゐ

る

そして水面の月が

夜風にゆれると

娼婦達等はぶる／＼と身

ぶるいして

チユウ／＼と鼠の鳴きま

ね

ニユツと立つてゐる

眞黒な電柱には

〇〇牧師先生講演のタペ

バナテスト教會

宗教を知らない或る人種

は

レビニのピラよりも

關心を持たないだらう

安レコードの濁聲は

鄙陋した人生を謳謡して

ゐる

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書准呈)

旭屋一六銀行

御利用を盛んに御取扱中

四百二十五番の電話次第
 御便宜直様御取運び致し
 ます

露披御車新

三四年型デラックスセダンが

入荷致しました

貸切の御用命の節は

電話六八五番へ……

是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー

電話六八五番

ゼアラの自轉車 代理店

平局御用 エビスヤ自轉車店

宮田自轉車 平南町 電話六六四番

◇宮田自轉車九半度郵便局納め

五千二百輛

小店員入用 貳名(十五、四才)

外科 X 光線科
 性病科
 外科科

安齊外科醫院

電話四七五番

櫻花の季節になりました
 御花見の折詰は!!

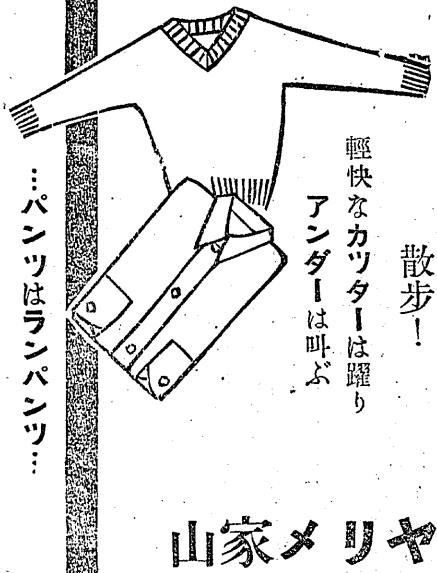
是非 夜更の折詰

時節柄價格低廉
 奉仕的勉強致します

三井物産

電話一四一番

春の装具



春! 花! 散歩!

輕快なカッターは躍り
 アンダーは叫ぶ

……パンツはランパンツ……

山家メリヤス店

御通學には

魂の這入つた

フタバの自轉車で

責任保證付。總クローム
 東京製新車 二十五圓ヨリ
 一年保證中古車 十圓前後

フタバ商会

見習生二名採用
 平。新川町。月見橋際

國際事情の正しき認識

けふの講演會に

二荒伯赤松主事獅子吼

國際事情講演會は既報の如く今二十六日午後六時から平署會議室で催され未原本縣學務部長の開會の辭に始まり前伯國大使館參事官赤松祐之氏の最近の世界情勢と日本の立場に次ぎ伯爵二荒芳徳氏の建國に現はれたる國際精神の二講演があつて今井本縣社會課長の閉會の辭に終るが非常時の折柄國際關係の正しき認識を必要として一般民の參會を熱望してゐる

湯本町で衛生功勞表彰式舉行

湯本町では結核豫防週間を機として二十七日午前十時から同町役場に於て衛生功勞者の表彰式を擧げる

炭礦發展で村の負擔が増額

此矛盾を何んとする 内郷村が教育費急迫

内郷村の炭礦教育費寄附増額問題はますます擴大して今度は不動澤杉山等の同村所在の個人經營の小炭礦にも寄付を迫ることになり昨日より交渉を開始したがその理由とする所は同村の總戸數は五千二百四十四戸でその内戸數割賦課資格のあるのは約二千三百戸で約六割に當る残りは炭坑村の特異性として戸數割の賦課を免かれる人達であり平均戸數割は七圓四十三錢であるが今年第一

庶民金庫信用評定

昨日から開く 平庶民金庫の信用評定委員

優良馬に獎勵金交付

石城郡産馬畜産組合員左記三名所有の牝馬は優良馬として農林大臣から獎勵金三十圓を交付された

平町の白米小賣

けふから値上げ

平町地方の白米小賣値段は去月より引續いて高値であるが最近附近農家が穀貯蔵の獎勵により賣米が不足を告げるに至つたため、平町米穀商組合では今二十六日より一キロに付き五厘の値上げを斷行

豚コレラ

検診執行

石城郡農會では來月二日から左記日割により豚コレラ豫防の健康診断を行ふ

入山庭球大會

入山

學務部長來平

本縣學務部長今井社會課長は別項の如く國際事情講演會に列席の爲けふ午後三時平着列車で來平した

故滑川氏の遺族消息 元警中校長滑川一郎氏長男瑞氏は東京落合の自宅より東大工學部に通學今春優秀な成績で卒業し日本郵船本社の就職したと

果樹聯合總會 石城郡果樹聯合總會では二十八日午前十時から春季總會を開き豫算決算役員改選その他に就き協議すると

對坑試合 警中と平商が試合度胸養成に 昨報警中對平商の野球戦は來る廿八日午後二時より警中グラウンドに行はれるが其の後兩校で打合せの結果廿八日に續いて翌廿九日も午後二時より第二回戦を行ふ事となつたが尚ほ例年春秋二回であつた兩校の對校戦を今後試合馴れの度胸を養ふ爲め機會ある毎に行ふといふ

自動車幹部會 平署管内自動車協會では二十七日午後一時から平署會議室で幹部會を開く

平商職員會議 平商業學校では本日午後二時より職員會を開き校友會豫算及び五月中の行事等に就いて協議した

常設館だより 平館 日活時代劇 坂東勝太郎、市川百之助主演 『赤垣源藏と堀部安兵衛』 大都現代劇 栗糸路、藤間林太郎主演 『浮氣はその日の出来心』 トビス全發聲シリアンウエストレ ナマンデル主演 『吸血鬼』 日活現代劇 鈴木傳明、夏川静江主演 『心の太陽』 世界館 松竹ニュース 新興時代劇 尾上菊太郎主演 『いのちの火花』 松竹

時代劇 飯塚敏子、林長二郎主演 『刺青判官』 松竹現代劇 新井淳、小林十九二、岡田嘉子、及川道子主演 『愛撫』

謹告

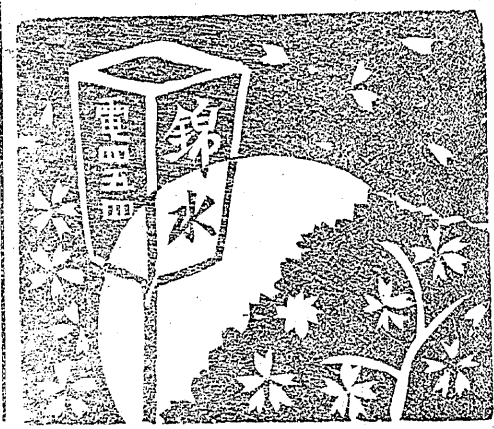
今回弊社資本金増額と同時に重役改選の結果左記の如く再選就任候間此段謹告候也

取締役 川崎文治
取締役 佐々木龍若
同 志賀盛榮
同 門傳清吾
同 原精一
同 山崎清三
相談役 阿部政右衛門

常磐毎日印刷株式會社 平町長橋町(電話六三〇番)

御花見

の御催し 折詰、辨當の大小に拘不御用命の程を御待して居ます



咽喉專門

入院 應需 平町町七〇番地 山内醫院 醫學士 山内亨吉 電話六九一

櫻花の賑ひ

日曜迄は大丈夫 諸設備も延期して 名残りを惜む

平町藝妓連の松ヶ岡除興場出演はけふ迄の豫定であつたが明日平湯方面から團體がくるので明日まで延期することになつたが雨に痛めつけられた櫻も未だ散りきらず人々も亦花見気分が失せず依然同公園は名残りを惜しむ観櫻客によつて賑を呈するものとして明日迄の期限である雪洞の點燈や臨時賣店などは平町の花見遊切平署の臨時取締所等も日曜頃までは續くらしく松ヶ岡觀櫻の情緒はそれまでは依然として「春の寵兒」たる面目を保つであらう

遠足を機に

海岸の玉石を

持ち歸つて奉安庫に美觀

平第二小學校高等科一、二年生は昨日新舞子、四倉方面へ遠足に赴いたのを機とし海岸の玉石を持ち歸り此程竣功した御眞影奉安庫に敷詰め美化を圖つた

鐵道に

飛込自殺

神谷村宇神谷農鈴木(三)は廿四日午後七時十六分三春町地内磐越東線踏切で下り旅客列車に飛込自殺した原因は目下取調中

眞夜中の

賭博檢舉

二十六日午前零時頃内郷村

十五圓を窃取した外各地を空巢狙ひ専門に荒した事發覺二十五日平署に檢舉館窃ある見込みで嚴重取調中である

觀世流同好

上田耕 作氏井 上貞二郎氏らの平町觀世流同好者連は此程研議會を設立したが今二十六日午後六時半から上田氏宅に於て發會式を舉行第一回の素議會を開く種目は
櫻川、忠度、小袖會我 蟬丸、三井寺 等であるが毎月一回例會を催す筈である

入山青年總會

入山 採炭青年團では來る二十九日午前九時より入山小學校に於て總會を開き本年度の事業其他種々事項を協議する

泥酔消防手

軌道で 仁王立

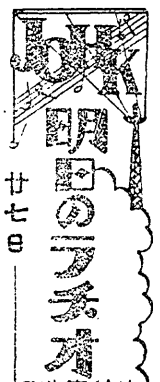
自動車は轉落

小名濱町磐城海岸軌道會社運轉手志賀榮治(三)は二十五日午後七時頃江名町仲ノ作より鮮魚を滿載して泉へ向ふ途中江名永崎地内縣道にある永崎橋上にさしかかつた際前方八尺の個所に泥酔消防手三名が立ふさがつたので之をさげんとして運轉を誤り自動車諸共河中に轉落したこと平署で探知目下該消防手を調査中であるが榮作は微傷を負ふたのみであつた

女賊捕る

平附近を荒す

當時住所不定郡山市生れ無職吉田キク(三)は二十三日正午頃内郷村大字宮原芳雄方に忍び入り衣類七点價格



天 氣 豫 報
今晩は南西の風 天氣良し明日は 北西風晴曇半す

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「京城より三姓穴」大石運平
- 後六、二五 漢文講座 菅谷軍次郎
- 後七、三〇 講演「經濟上に於ける國民的協力」經濟學博士 坂田由藏
- 後八、〇〇 朝鮮氏諺と正樂京城より中繼
- 後八、三〇 尺八 謠曲 加藤源水
- 後八、四五 ジャズ

明日の部

- 後八、五五 ラヂオコメデ
- イおしどりホテル堤真佐子外大勢
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
- 後六、三〇 基礎英語講座 (九)岡倉由三郎
- 後七、二〇 聖典講義(十一)東京文理科大学教授 文學博士諸橋徹次
- 後九、三〇 (子供の時間) 物語「この母の子」高村季嶺

磐女結核豫防

磐女では明日の結核豫防デーを前にし本日午後一時より講堂に於いて校醫加澤醫師の豫防に関する講演があつた

結婚を嫌つて

死を覺悟の女

リルモチンを求め

怪しまれて警察に

勿來町渡部カツ(三)は去る本月十日心に染まぬ結婚を強られ是れを嫌つて家出し水戸で派出婦を勤めて居たが世を果敢んで去る廿四日同市南町坂場藥局よりカルモチンを買つて自殺せんとしたが店員に怪しまれ目下水戸署で保護を加へて居る

裁判所たより

△小名濱町宇定西五一小松ソメ(三)は昨年中縣令を以つて禁止してある長さ二寸以下の介殼五十七枚餘を同町海岸で捕獲した爲め漁業取締違反として此程平區裁

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電話一七〇番

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

鈴木醫院

平町 田町 電話五八番

新音頭

(禁煙最上級及上演)

田邊南龍(作)
山本英春(監)

一七

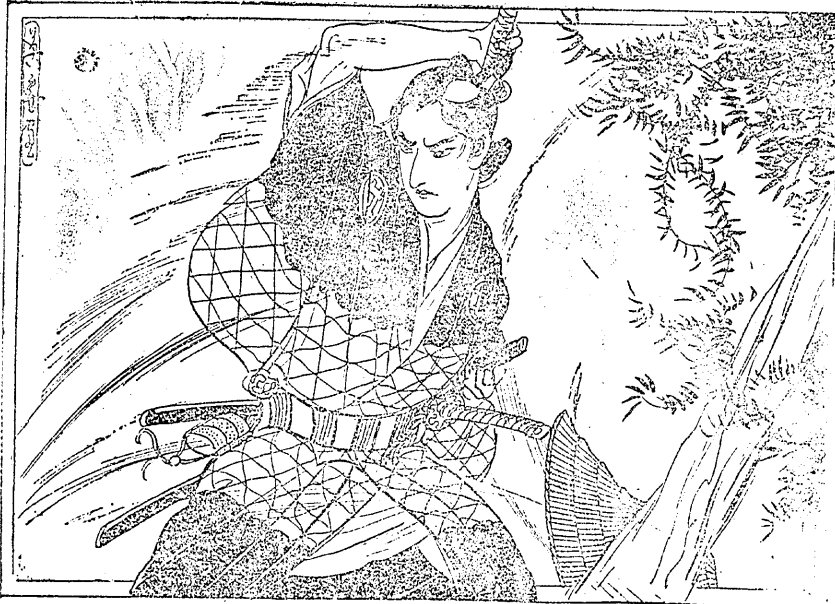
興味に乗つて殺人

成程百四五十兩の金が入つてゐるらしい、権八其の夜は廊へ入らず長兵衛の處へ歸つて來て寝たのは、萬一身體と返り血でも浴びてゐては露顯の元と思つたからです其の夜の内に此の死體を見付けたものがあつた役人の出張となり、廊内は大騒ぎになりましたが、誰も権八の所業と思ふ者は一人もありません。翌晩権八は吉原へ行つた。

直ぐに堪定を拂つたりすると怪しまれると思つたから當分厭な思ひをして暫らく經つてから茶屋の勘定を拂ひました。

ある日、権八は連流遊びにつかれて、廊内に灯が入つてから廊を出た、大門を出て土手へ掛ると向ふから來たのは遊人の黒雲武平といふ男だ、豫て此の男は権八の評判の宜いのを嫉んでゐたので、摺れ違ひながら態と鎧を當た

『何をすると此方云ふ事だ、鞘當をしながら何故詫やまらねえ、青二才の癖に、生意氣な奴だ、文句が



あるなら刀を抜け相手をしと脇差の柄に手を掛けた権八は何を思つたか、ニツコリ笑つて

「イヤ之は飛んだ粗忽を致され」
散々氣いたが権八は下を向いた儘何も云はなかつた武平は之から内廊へ行つて此の事を吹聴してやらうと北奥笑ながら踵を返して二歩出た時に

した、何卒お許し下さい、御容赦願ひます』
と謝つた、武平も、権八が夫ほど弱音を吐かうとは思ひも寄らなかつた處だが謝られて見れば仕方がない

了つたので何でもなかつたと其の儘仲の町の茶へ來た茶屋の内儀は厭な奴が來たとは思つたが疏略に扱ふと後の祥りが恐いから愛想よく

と言ひながら背中をポーッと叩くと其の途端にコロリと首が前へ落た、死だとは思はないから
「マア御冗談を」
と云つたが、骸が倒れるとドット血が流れ出して宛然蘇榜の樽を開けたやうだ吃驚して茶屋の内儀は目を眩して了つた、世の中には不思議な病氣があるものだと云つて廊内で評判をした

營業所移轉廣告

従前タクシー及トラック營業に對し格別御引立に預り有難く御禮申上候、今度營業所を左記へ新築移轉し營業の合理化としてトラック營業單一擴張をしい意専心努力なす可候間何卒舊に倍し御愛顧の程願上候、したがつてタクシー營業は當分の間休業仕候、四月十八日

新營業所
白銀町十番地

松崎自動車商會

電話三九二番

花柳病科 小兒科 内科 藤沼醫院

入院應需

町屋五〇七番 電話

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

阿康藥舖

◎御家庭薬として是非御用意下さい
熱い火や湯でヤケドなされた時直ぐツグますればヒブクレにならずなほります
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さい。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキレイに治ります。
キリ印(ヤケド)キリキズ
太乙膏(ヒブ)あかざれ
平町古鍛冶町一〇 専賣店

電話四四番

難波 内科一般 難波陸
醫學博士
平町大町新川端 電話五〇二

磐城共済病院

(福島縣平町) 電話六四二番

小兒科	院長 石山謙郎 (電話六四二番)
婦人科	副院長 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
外科	部長 齋藤七五三男
耳鼻咽喉科	部長 前澤正
皮膚泌尿器科	部長 (電話二七二番)
花柳病科	部長 石山謙郎
X光線科	部長 石山謙郎
衛生試驗局	局長 高後利雄
藥劑局	局長 鈴木寶雄
藥局	局長 鈴木寶雄

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
◎病室完備 入院隨意